



『「カトリックの聖書」?』

熊木 建郎

わたしは、南山大学図書館の一つのコレクションである「カトリック文庫」に直接かかわっている者ではありません。だが、このたび寄稿するよう依頼されましたので、当文庫を閲覧に行ったときの感想と、最近わたしが読んだ聖書関連のいわゆる教養本についての疑問を、特に、「カトリック文庫」という言い方には何の問題もありませんが、「プロテスタントの聖書」と「カトリックの聖書」という区別や言い方には、気を付けなければならないということについて指摘させていただきたいと思います。

「カトリック文庫」の所蔵本の中に、日本で取り組まれてきた、聖書の翻訳事業の歴史的産物として、プロテスタント系の出版社から発行された新約聖書などがあることにビックリされた方もあるかも知れません。だが、わたしは聖書学者の一人として、これは史料としての価値という点ばかりでなく、「聖書」という本を正しく理解するための参考になることであり、とてもふさわしいことだと考えます。

端的に申しまして、「聖書」は「聖書」であり、「プロテスタントの」聖書とは異なる「カトリックの」聖書という考え方は厳密に言えば正しいものではありません。

プロテスタント系の出版社から発行された聖書と、カトリック教会関係の出版社から出されている聖書という違いはあっても、両方とも「聖書」としての価値には差異はありません。もちろん、訳文の正確さとか、文章の美しさという点では違いがあるかも知れません。しかし、それは教義上の相異というような事とは性質を異にするものです。

たしかに、カトリック教徒は「プロテスタントの」聖書を読むべきでないというようなことが教えられていた時期があったかも知れません。しかし、今ではプロテスタント系の学者とカトリック系の学者が力を合わせて完成させた、「新共同訳」聖書が広く読まれていることは、みなさまもよく御存知です。そして、それは「プロテスタント」運動の中で大きな役割りをはたして来た「日本聖書協会」から発行されているものなのです。

聖書が世界のベスト・セラーであり、日本の出版界においても需要の多い本であることもよく知られています。このような状況を反映してでしょうか、このところ、次々と、聖書に関する安直な解説本とか教養本の類が出版されています。これらの本に共通していることは、「早わかり」とか「これ一冊でわかる」というようなキャッチ・フレーズです。その中の一冊には、あたかも「カトリックの聖書」と「プロテスタントの聖書」は別のものであり、カトリック信者はプロテスタントの聖書を買っている一般の書店ではなく、専門書店で聖書を買うというような記述が堂々と載っています。

「カトリック文庫」にプロテスタント系の学者による翻訳聖書が収められているという事実は、そこに歴史的な意味があるばかりでなく、「新共同訳」が主流となっている今のカトリック信者にとって「聖書とは何か」ということをあらためて考えさせてくれるのではないのでしょうか。

(Kenro KUMAKI : 人文学部教授)

視聴覚メディアによるキリスト教宣教 - 音響映像グループメディアセンター26年の歩み -

今井 麻里子

優れた視聴覚メディアの制作・発行を通じ、日本の宗教教育に長く貢献して来た「音響映像グループメディアセンター」が2000年3月31日、その活動に終止符を打った。作品数の多さ、内容の質の高さから、日本随一のキリスト教メディアセンターとして愛され信頼されて来た同センターだけに、その損失は計り知れず、閉鎖を惜しむ声は後を絶たない。

カトリック文庫委員会では、同センター所長として視聴覚メディアによるキリスト教宣教に尽くして来られたゲオルク・ニュルンベルガ氏にお話を伺うことが出来た。ここに、音響映像グループメディアセンターの26年にわたる活動の軌跡を辿り、同センターの果たした大きな役割について改めて考えてみたい。

< 設立までの経緯～初期の活動 >

1974年3月25日、同センターは当時の南山大学学長であったヒルシュマイヤー神父を中心に、シューベルト神父、他数名のメンバーの提唱によって発足した。ドイツの神言会から視聴覚メディアの専門家が来日し、実験的な作品を制作したことがそもそものきっかけであったという。ニュルンベルガ氏はドイツで神学を修めた後、上智大学の大学院で比較言語学を研究中であったが、美術への造詣が深かったことから縁あってこのプロジェクトに参加。以来、責任者としてその運営に携わることとなる。神言会所有のロゴスセンター（愛知県名古屋市）の一室で、何も無いところからのスタートであった。

「音響映像グループメディアセンター（以下「音響映像gmc」と略）」という名称は、少人数によるグループ学習の為のメディア、すなわちテープとスライドの研究・制作を目的としたことから付けられたものである。様々なメディアを通して受講者に刺激を与え、そこから引き出した疑問や問題についてグループでの話し合いを通して解決するという方法は、欧米の学校においてはごく基本のスタイルであった。こうした方法こそキリスト教への理解を深める上で有効であると判断した同センターでは、不特定多数を対象としたマス・コミュニケーションでなく、敢えて小さなグループ内での対話や討議・交わりを選んだのである。



ゲオルク・ニュルンベルガ氏
(2000年9月29日
南山大学図書館会議室にて)

様々な調査やネットワーク作り、学生向けの実験的な作品制作等を経た後、音響映像 g m c はいよいよ本格的な活動に入って行った。最初に広報活動を手掛けたのは「受難」についての黙想的な作品である。祈るような気持ちで反応を待つ彼らのもとに、最初の1週間だけで50箇所もの教会や学校から連絡が入り、関係者は多いに勇気付けられたという。

とは言うものの、開設当時のクライアントの実に8割は外国人の神父であった。「メディアによる宣教」が諸外国においてはるかに浸透していた為であろう。そして視聴覚メディアに違和感のなかった彼らが、これらの教材を教会や学校の諸活動に積極的に活用したことで、音響映像 g m c の存在とその活動内容は、次第に広まって行くことになる。特に関心を持って受け入れたのは、共同体づくりのための手段と方法を模索中の人々であった。

発足からの10年で、聖書研究をはじめ、黙想、人生、文学、美術、世界の文化、教会生活など、同センターが人間教育の為に制作した作品は193種、販売総数は21,250点にも及ぶ。いずれも「日本に何が必要か」という点に着目した企画であり、キリスト教精神をベースにした質の高い力作であった。中でも音響映像 g m c が最も力を入れて取り組んだのが、キリスト教美術の紹介である。多くの「まがい物」が「キリスト教美術」としてまかり通る日本の現状を憂い、そうした状況を少しでも改善出来れば、という思いからであった。こうして、キリスト教的メッセージがきちんと含まれているもの、芸術的に素晴らしいもの、大人向けのもの、を中心とした多くの価値ある情報が日本にもたらされたのである。

音響映像 g m c では最初の3～4年、外国の視聴覚メディア（主にドイツのもの）を翻訳・紹介していたが、その後は独自に企画・制作する作品を増やして行った。それらのほとんどが大学向けであったことは、それまで大人向け、学生向けの視聴覚メディアがほとんど存在しなかった日本において、大きな意味を持っていたと言える。

また、年間10本以上の作品を手掛けて行ったことも、音響映像 g m c の独自の姿勢として多いに評価出来る点である。実際のところ、その位のペースで作品を生み出して行かないことには、上映する為の機器を学校や教会等に購入してもらえないという事情もあったらしい。しかしながら、作品をコンスタントに提供し続けるという容易ではない道を敢えて選んだことで、同センターの作品の幅は結果的に大いに広がることとなった。

< 中期から後期の活動 >

創立10年目にあたる1984年、音響映像 g m c ではビデオの制作を開始した。テレビはもはや家庭の中心的存在となっていたが、ビデオについては未だ先の見えない時代であった。それでも制作開始にあたっての機材購入やスタジオ建設の為の費用は、国内外の心ある人々からの寄付金・献金によってまかなわれたという。同センターに対する期待と支持の大きさがうかがわれる出来事である。

やがてビデオデッキの急速な普及でビデオ作品の需要も増し、5～6年の移行期間の後、音響映像 g m c の活動もビデオ制作中心に切り替わって行った。プロのアナウンサーを始めとした、平均7～8名の熱意あるスタッフによる質の高い作品作りが、同センターの自慢であった。

こうして、ビデオ制作を始めてから2000年までの16年間で、音響映像gmcによるビデオ作品は254種、販売総数は51,730点に及んだ。

この中でもベストセラーとなっているのが以下の5作品である。(作品説明については、ニュルンベルグ氏による「音響映像グループメディアセンターファイナル・レポート」より抜粋)

1. 「マザー・テレサの遺言」

マザー・テレサ最後のドキュメンタリー。カルカッタの貧民街で祈りと救済の日々の姿。彼女が語った遺言とは。(最多数の売上げを記録。この作品により利用者層がさらに広がる。)

2. 「アンネ・フランクとその世界」

アンネの生涯とその生と死の意味を考える。オランダのアンネ・フランク・センターとの共同制作。(全国の公共図書館から注文が入り、利用者層増加の契機となった。)

3. 「日本26聖人の物語」

子供の為のドキュメント。日本の教会の歴史としても貴重。

4. 「デカログ」

ポーランドの巨匠キエシュロフスキー監督の名作。現代生活の中に、十戒を問いかける。アカデミー特別賞受賞作品。

5. 「イエス・キリストの跡をたどって」(全10巻)

大聖年記念。現代のイスラエルと聖書の世界を結ぶ。カトリック中央協議会推薦。

これらのビデオを販売するにあたって、最も難しかったのは価格の設定であるという。高価なビデオを次第に安く提供出来るようになっていったこと自体は喜ばしいことだったが、価格を安くしたことで手掛ける本数(つまりダビングの手間)が増えてしまったのである。このことはセンターに猛烈な負担をかけ、最後の5~6年は特に大変であったようである。

また、価格と言えばこんなエピソードもある。同センターが5万円ほどのロイヤリティで手に入れた作品が、購入のたった3週間後に何とオスカー賞を受賞してしまったのである。その後に購入しようとした人は、100万円を出さなければならなかったというから、世の中、何があるか分からない。

音響映像gmcではこの他、本、黙想カード、キリスト教美術カード、紙芝居の制作や、美術ポスター、アイコンパネル、ブロンズ聖品、ローソク等の輸入・販売も手掛けて来た。どれも美しく、特色のあるものばかりである。ここでは同センターによる主な出版物を紹介したい。(作品説明については、ニュルンベルグ氏による「音響映像グループメディアセンターファイナル・レポート」より抜粋)

1. 「フォト・ランゲージ」

様々な場面の写真をもとに、黙想やグループで話し合う本。グループメディアの典型と言える。一般の会社や労働組合などの教材としても、コンスタントに利用されている。

2. 「キリストの^{かお}面」

ニュルンベルグ氏の著作。キリスト像をめぐる歴史的、芸術的、神学的考察。

3. 「わたしの聖書」

ドイツの司祭・画家ジーガ・ケータによる、子供の為の絵入りの聖書。「共同体の聖書講座 “水の上を歩いて” シリーズ」全3冊。ビデオと本のセット。

4. 「ワーク・ブック」

初聖体の準備の為、子供達に興味を持って作業させ、夢を育てる本。

音響映像 g m c ではこれらの作品を販売する際、積極的にカタログを使用した。通信販売はまだ珍しかった 1970年代からこの方法を利用していたことは、同センターの支持者が全国規模で存在することに少なからず影響を及ぼしている。

創設から26年で、教会・学校・図書館・修道院等の団体による利用は1,000、個人の利用は2,000に上る。彼らこそ、同センターを最後まで支え続けた大切な財産であった。

<最後に>

「最も心に残っていらっしゃることとは」との問いに「恵みがあったこと」と答えられたニュルンベルグ氏。氏にとって何よりの喜びは、名古屋という良い環境で、素晴らしい聖書研究のチームに巡り合い、人々の熱意に支えられて制作の仕事が出来たことであったという。

音響映像 g m c のビデオシリーズ「信仰の証：ルーメン2000（神言会特集）」の中でも、氏はこう語っている。



「私達はモノを売る訳じゃないんです。確かに、色んなビデオを作ったり、カードを作ったり、ものを刷ったりします・・・提供しますけれども、私達の売りたいのは、こういうモノじゃなくて、私達の信仰体験も含めて、世界の信者、世界の人々の信仰体験を皆に紹介したい。同じような体験をまた出来るような手段を提供したいんです。」

26年にわたって同センターを慈しみ、育て上げて来たニュルンベルグ氏をはじめとする関係者の方々にとって、経営的には何ら問題がないにもかかわらず、「後継者の不足」という理由から同センターを閉鎖しなければならなかったことは、どんなにか悲しい決断であったことだろう。

しかしながら、音響映像 g m c の数々の作品に込められたキリストのメッセージは、確かに私達のもとへ届き、1人1人の心の中に留まっている。そしてこれからも、同センターの遺した作品が、多くの人々に影響を与え続けることは間違いない。その意味で、音響映像 g m c はこれからもなお存在し続けるのであり、その果たす役割は限りなく広がっていると言えよう。

<資料の入手について>

南山大学図書館では、音響映像 g m c 制作による作品の多くを所蔵している(*)。これらの価値ある資料を、今一度、是非閲覧されたい。また、同センターの作品を入手したい場合には、ロゴスセンター：(052) 833-3110 (シューベルト神父様) にて問い合わせを受け付けている。現在、ニュルンベルグ氏の著作「私の聖書」をはじめとする一部書籍の購入が可能であるほか、ビデオ作品のダビングサービス(有料)を行っているとのことである。

なお、日本国内では同センターと同様な活動をしているところ(プロフェッショナル)は今のところない為、残念ながら、今後はこのような宗教教育関係の視聴覚資料を入手することは不可能である。

いつの日か、音響映像 g m c の目指したキリスト教メディアセンターが、新たな形で再び誕生することを願って止まない。

* これらは南山大学名古屋図書館および南山大学視聴覚ライブラリーにて閲覧可能である。所蔵作品については、次頁以降の「音響映像グループメディアセンター作品リスト(南山大学所蔵分)」を参照のこと。



ゲオルク ニュルンベルグ
Georg Nuernberger 氏について

1938年 ドイツ生まれ

1970年 St. アウグスティン(ボン)哲学、神学科
卒業

1974年~2000年3月 音響映像グループメディアセ
ンター所長

(Mariko IMAI : 学術情報センター)

音響映像グループメディアセンター作品リスト（南山大学所蔵分）

配列はタイトルのアルファベット順

書誌番号	タイトル	請求番号	資料の種類	配架場所
1052025	愛のはじまるころ	190F/22	カセット	視聴覚ライブラリー
1052026	愛のはじまるころ	190F/23	スライド	視聴覚ライブラリー
3145829	あなたの父母を敬いなさい	ME/193/3/v.4	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145806	アンネ・フランクとその世界	ME/316.8/1	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145828	安息日を守りなさい	ME/193/3/v.3	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145813	アランカ	ME/191/2	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1052002	朝の静けさを破るこえ	190F/6	スライド	視聴覚ライブラリー
1067884	朝の静けさを破るこえ	190F/7	カセット	視聴覚ライブラリー
3145790	アシジの聖フランシスコ	ME/198/6	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145812	新しい出発	ME/198/18	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3148352	チューリヒの窓	MC/724/1	スライド	図書館（マイクロ室）
3145816	中心への旅	ME/193/14	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145836	出会えぬ兄弟	ME/198/9	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145799	ディートリヒ・ボンヘッファー	ME/198/5	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145802	ドン・ボスコ	ME/198/4	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3146026	永遠への窓	ME/198/16	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145807	エルサレム	ME/228/1	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145821	エルサレムでの最後の日々	ME/193/13	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145819	ファリサイ人	ME/193/11	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3148354	復活の希望	MC/724/3	スライド	図書館（マイクロ室）
3145803	福音のルーツ	ME/193/6	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145797	福音を生きる	ME/193/7	ビデオ	図書館（マイクロ室）
2101399	フランシスコ・ザビエルと共に歩む 上	ME/190/2/v.1	ビデオ	図書館（マイクロ室）
2101400	フランシスコ・ザビエルと共に歩む 下	ME/190/2/v.2	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145820	ガリラヤ湖の春	ME/193/12	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3153784	原始キリスト教会	MC/198/2	スライド	図書館（マイクロ室）
1066209	原始キリスト教会	190F/32	スライド	視聴覚ライブラリー
1066202	原始キリスト教会 1	190F/31/v.1	カセット	視聴覚ライブラリー
1066203	原始キリスト教会 2	190F/31/v.2	カセット	視聴覚ライブラリー
3145833	偽証してはならない	ME/193/3/v.8	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1067854	光の息子たち	190F/33	ビデオ	視聴覚ライブラリー
3145798	光の息子たち	ME/193/16	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1102442	開かれた共同体	MC/195/3	スライド	図書館（マイクロ室）
1084362	秘跡の心を探る 婚姻	MC/196/16	スライド	図書館（マイクロ室）
3145835	人の持ち物を欲しがってはならない	ME/193/3/v.10	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145834	人の妻を欲してはならない	ME/193/3/v.9	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145841	人の上に人をつくらず	193K/2221	図書	図書館（B1F）
3145840	人の上に人をつくらず	ME/193/10	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145843	焰のような信頼	ME/198/11	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1067196	放蕩息子の帰宅	190F/34	ビデオ	視聴覚ライブラリー
3146055	イエス・キリストの跡をたどって	ME/192/3	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1066206	イエスの足跡を辿る	190F/27	ビデオ	視聴覚ライブラリー
3145794	イエスの足跡を辿る	ME/192/2	ビデオ	図書館（マイクロ室）
1052010	イエスと弟子たち	190F/12/v.1	カセット	視聴覚ライブラリー
1102441	イコン	MC/192/4	スライド	図書館（マイクロ室）
3146043	命を命に	ME/198/14	ビデオ	図書館（マイクロ室）
3145827	神の名をみだりに唱えてはならない	ME/193/3/v.2	ビデオ	図書館（マイクロ室）

配列はタイトルのアルファベット順

書誌番号	タイトル	請求番号	資料の種類	配架場所
3145831	姦淫してはならない	ME/193/3/v.6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145801	カール・バルト	ME/191/1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052000	キリストの受難	190F/4	スライド	視聴覚ライブラリー
1052001	キリストの受難	190F/5	カセット	視聴覚ライブラリー
1102445	キリストの受難	MC/192/3	スライド	図書館(マイクロ室)
3063125	キリストの面(かお)	192K/654	図書	図書館(B1F)
3063125	キリストの面(かお)	192K/654/A	図書	図書館(B1F)
3146038	奇跡って・・・	ME/192/4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145830	殺してはならない	ME/193/3/v.5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1067473	クリスマスはいつ?	190F/28	ビデオ	視聴覚ライブラリー
3145795	クリスマスはいつ?	ME/196/3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3148357	マホメットの答え	MC/167/1	スライド	図書館(マイクロ室)
3145791	マキシミリアノ・コルベ	ME/198/10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052011	マリア、恵みにみちた方	190F/12/v.2	カセット	視聴覚ライブラリー
1052013	マルコスによる福音 1,2	190F/13/v.1	カセット	視聴覚ライブラリー
1052014	マルコスによる福音 3,4	190F/13/v.2	カセット	視聴覚ライブラリー
1052015	マルコスによる福音 5,6	190F/13/v.3	カセット	視聴覚ライブラリー
3146048	マザーテレサの遺言	ME/198/13	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052012	み言葉は人となって	190F/12/v.3	カセット	視聴覚ライブラリー
3146047	無賃乗車	ME/316.1/1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052005	ナザレのイエス 1,2	190F/11/v.1	スライド	視聴覚ライブラリー
1052006	ナザレのイエス 3,4	190F/11/v.2	スライド	視聴覚ライブラリー
1052007	ナザレのイエス 5,6	190F/11/v.3	スライド	視聴覚ライブラリー
1052008	ナザレのイエス 7,8	190F/11/v.4	スライド	視聴覚ライブラリー
1052009	ナザレのイエス 9,10	190F/11/v.5	スライド	視聴覚ライブラリー
1052029	何故信じるのか 1	190F/25/v.1	ビデオ	視聴覚ライブラリー
2018543	何故信じるのか 1	ME/190/1/v.1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052030	何故信じるのか 2	190F/25/v.2	ビデオ	視聴覚ライブラリー
2018544	何故信じるのか 2	ME/190/1/v.2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052031	何故信じるのか 3	190F/25/v.3	ビデオ	視聴覚ライブラリー
2018748	何故信じるのか 3	ME/190/1/v.3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052032	何故信じるのか 4	190F/25/v.4	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1006844	何故信じるのか 4	ME/190/1/v.4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052033	何故信じるのか 5	190F/25/v.5	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1006846	何故信じるのか 5	ME/190/1/v.5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052034	何故信じるのか 6	190F/25/v.6	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1006845	何故信じるのか 6	ME/190/1/v.6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052035	何故信じるのか 7	190F/25/v.7	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1006843	何故信じるのか 7	ME/190/1/v.7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052036	何故信じるのか 8	190F/25/v.8	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1010898	何故信じるのか 8	ME/190/1/v.8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052037	何故信じるのか 9	190F/25/v.9	ビデオ	視聴覚ライブラリー
1010876	何故信じるのか 9	ME/190/1/v.9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
2019360	何故信じるのか 10	ME/190/1/v.10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
2019361	何故信じるのか 11	ME/190/1/v.11	ビデオ	図書館(マイクロ室)
2019362	何故信じるのか 12	ME/190/1/v.12	ビデオ	図書館(マイクロ室)
2019363	何故信じるのか 13	ME/190/1/v.13	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146041	日本26聖人の物語	ME/198/15	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145832	盗んではならない	ME/193/3/v.7	ビデオ	図書館(マイクロ室)

配列はタイトルのアルファベット順

書誌番号	タイトル	請求番号	資料の種類	配架場所
3145825	大浦天主堂	ME/198/17	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145822	パウロギリシアに行く	ME/193/5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1066122	パウロの旅 1	190F/29/v.1	カセット	視聴覚ライブラリー
1066123	パウロの旅 2	190F/29/v.2	カセット	視聴覚ライブラリー
1066208	パウロの旅	190F/30	スライド	視聴覚ライブラリー
3145811	ペテロとパウロ	ME/193/4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1160064	両親と教育者のための性教育読本	B-5/379.8/105	図書	図書館(2F三宅文庫)
3146046	サイレントラブ	ME/196/4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146036	賛美歌は祈り	ME/196/6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145800	サンタクロースって誰?	ME/198/8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145805	聖マドレーヌ大聖堂	ME/195/3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146039	聖書はどのようにしてできたの	ME/193/17	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145810	千年も一日の如くに	ME/198/7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150516	信仰の証 1991-1	ME/197/1/1991-1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150541	信仰の証 1991-2	ME/197/1/1991-2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150542	信仰の証 1991-3	ME/197/1/1991-3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150543	信仰の証 1991-4	ME/197/1/1991-4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150545	信仰の証 1991-5	ME/197/1/1991-5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150546	信仰の証 1991-6	ME/197/1/1991-6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150547	信仰の証 1991-7	ME/197/1/1991-7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150548	信仰の証 1991-8	ME/197/1/1991-8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150549	信仰の証 1991-9	ME/197/1/1991-9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150550	信仰の証 1991-10	ME/197/1/1991-10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150551	信仰の証 1991-11	ME/197/1/1991-11	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150553	信仰の証 1991-12	ME/197/1/1991-12	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150554	信仰の証 1991-S1	ME/197/1/1991-13	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150555	信仰の証 1991-S2	ME/197/1/1991-14	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150556	信仰の証 1991-S3	ME/197/1/1991-15	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150560	信仰の証 1992-1	ME/197/1/1992-1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150561	信仰の証 1992-2	ME/197/1/1992-2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150562	信仰の証 1992-3	ME/197/1/1992-3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150563	信仰の証 1992-4	ME/197/1/1992-4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150564	信仰の証 1992-5	ME/197/1/1992-5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150565	信仰の証 1992-6	ME/197/1/1992-6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150566	信仰の証 1992-7	ME/197/1/1992-7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150567	信仰の証 1992-8	ME/197/1/1992-8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150568	信仰の証 1992-9	ME/197/1/1992-9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150569	信仰の証 1992-10	ME/197/1/1992-10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150571	信仰の証 1992-11	ME/197/1/1992-11	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150572	信仰の証 1992-12	ME/197/1/1992-12	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150574	信仰の証 1992-S1	ME/197/1/1992-13	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150575	信仰の証 1992-S2	ME/197/1/1992-14	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150576	信仰の証 1992-S3	ME/197/1/1992-15	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150578	信仰の証 1993-1	ME/197/1/1993-1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150579	信仰の証 1993-2	ME/197/1/1993-2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150580	信仰の証 1993-3	ME/197/1/1993-3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150582	信仰の証 1993-4	ME/197/1/1993-4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150583	信仰の証 1993-5	ME/197/1/1993-5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150584	信仰の証 1993-6	ME/197/1/1993-6	ビデオ	図書館(マイクロ室)

配列はタイトルのアルファベット順

書誌番号	タイトル	請求番号	資料の種類	配架場所
3150585	信仰の証 1993-7	ME/197/1/1993-7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150586	信仰の証 1993-8	ME/197/1/1993-8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150587	信仰の証 1993-9	ME/197/1/1993-9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150588	信仰の証 1993-10	ME/197/1/1993-10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150589	信仰の証 1993-11	ME/197/1/1993-11	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150591	信仰の証 1993-12	ME/197/1/1993-12	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150592	信仰の証 1993-S1	ME/197/1/1993-13	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150593	信仰の証 1993-S2	ME/197/1/1993-14	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150594	信仰の証 1993-S3	ME/197/1/1993-15	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150595	信仰の証 1994-1	ME/197/1/1994-1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150596	信仰の証 1994-2	ME/197/1/1994-2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150600	信仰の証 1994-3	ME/197/1/1994-3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150601	信仰の証 1994-4	ME/197/1/1994-4	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150606	信仰の証 1994-5	ME/197/1/1994-5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150603	信仰の証 1994-6	ME/197/1/1994-6	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150608	信仰の証 1994-7	ME/197/1/1994-7	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150610	信仰の証 1994-8	ME/197/1/1994-8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150612	信仰の証 1994-9	ME/197/1/1994-9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3150618	信仰の証 1994-10	ME/197/1/1994-10	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145818	信仰の証 1-A パパさま特集	ME/197/1-A	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145823	信仰の証 1-B	ME/197/1-B	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145844	信仰の証 1-C スペシャル	ME/197/1-C	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145814	信仰の証 1-D-1 音楽特集	ME/197/1-D/v.0-1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145817	信仰の証 1-D-2 音楽特集	ME/197/1-D/v.0-2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145845	信仰の証 1-D-3 音楽特集	ME/197/1-D/v.0-3	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146028	信仰の証 1-E-1 日本特集	ME/197/1-E/v.1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146029	信仰の証 1-E-2 日本特集	ME/197/1-E/v.2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146032	信仰の証 1-F-1 SVD特集	ME/197/1-F/v.1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146034	信仰の証 1-F-2 SVD特集	ME/197/1-F/v.2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145809	信仰の光	ME/190/5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145824	諸宗教との対話	ME/160/1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145838	主の名によって集まる共同体	193K/2223	図書	図書館(B1F)
3145837	主の名によって集まる共同体	ME/193/8	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3146054	修道院	ME/195/2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052023	トリノの聖骸布	190F/20	カセット	視聴覚ライブラリー
1052024	トリノの聖骸布	190F/21	スライド	視聴覚ライブラリー
3145815	ヴェロニカ	ME/193/15	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1216698	わたしのガリラヤわたしの民	193K/1780	図書	図書館(B1F)
1216698	わたしのガリラヤわたしの民	193K/1780/A	図書	図書館(B1F)
3145839	わたしのガリラヤわたしの民	ME/193/9	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145826	私のほかに神があってはならない	ME/193/3/v.1	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3148355	ヤコブの十二人の息子	MC/724/2	スライド	図書館(マイクロ室)
3145792	闇を照らす光	ME/196/2	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145808	雪の中の礼拝	ME/196/5	ビデオ	図書館(マイクロ室)
3145804	雑草のように	ME/198/12	ビデオ	図書館(マイクロ室)
1052003	前進への勇氣	190F/9	スライド	視聴覚ライブラリー
1052004	前進への勇氣	190F/10	カセット	視聴覚ライブラリー

(計.172)

東京大聖書展を見学して

笹山 達成

2000年11月2日～19日まで東京・西新宿の東京オペラシティで開催されていた「東京大聖書展」を見学する機会を得た。この東京大聖書展は、キリスト降誕2000年を記念して、東京のカトリック、プロテスタントの教会が合同で企画し、財団法人日本聖書協会、朝日新聞社主催のもとで開催されたものである。展示物には、東アジア初公開となる「死海写本」の6つの断片（創世記 - 出エジプト記、レビ記、申命記、詩編、イザヤ書、エレミヤ書）やこのあと取り上げる「ゲーテンベルク42行聖書^{*1}」のほか、パチカン図書館所蔵の写本「旧約聖書」から和訳聖書などのオリジナル原本・ファクシミリ版が展示され、文字通り2000年の聖書の歴史がたどれるよう工夫されていた。今回の一番の展示物は、「死海写本」であったが、個人的には「42行聖書」の装飾、活字、製本それぞれの美しさに目を奪われた。ここでは、慶應義塾大学が行っている貴重書のデジタル画像化事業と合わせて「ゲーテンベルク42行聖書」を中心に報告する。

ゲーテンベルクと42行聖書

ゲーテンベルクは言わずと知れたルネッサンス三大発明の一つである活版印刷を発明した人物である。1400年が生誕の年とされ、今年が生誕600年を記念する年となるため、生誕地ドイツ・マインツなどではこれを記念した行事が開催されたという。

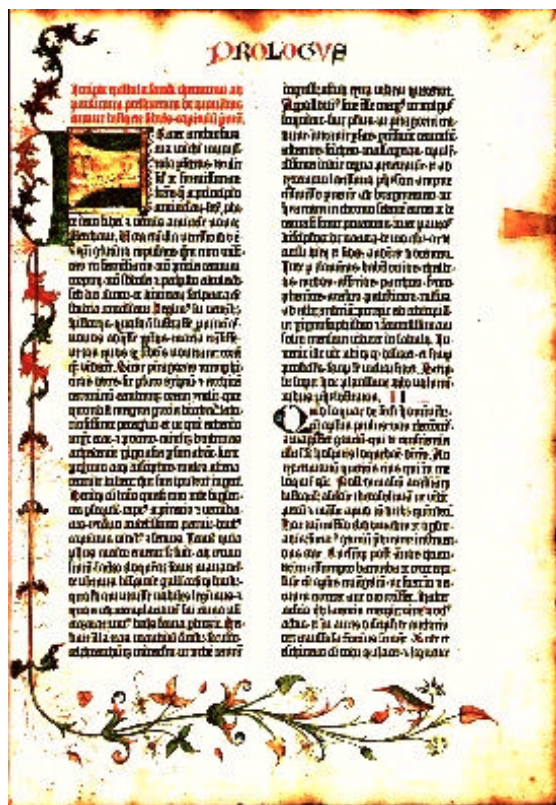
今回展示された42行聖書は、1987年、丸善がオークションで落札し、慶應義塾大学が1996年から所蔵しているものであり、マインツで印刷、装飾、製本された現存する3部の内の1部である。

ゲーテンベルクは、この時代に最高レベルに達していた写本を模倣し、鑄造活字、インク、プレスという三つの発明を通じて結果的には写本を凌駕する聖書の印刷本を完成させた。活字はゴシック、プロポーショナルで、その当時の写本の中で最も美しい文字が選ばれ鑄造された。この印刷本は、その当時はもちろんの事、現代においても十分美しく、いまだ印刷物の最高傑作と呼ばれている。

会場では現物の展示だけにとどまらず、慶應義塾大学ですすめられているHUMIプロジェクト^{*2}によりデジタル・アーカイブ化された画像の紹介も行われていた。ゲーテンベルク聖書のデジタル画像化は、現在のところ、慶應義塾大学所蔵のもの他に、イギリス・ケンブリッジ大学、マインツのゲーテンベルク博物館、イギリス・大英博物館の所蔵資料が完成している。このデジタル画像化により保存と利用という貴重書では相反する行為の両立が可能となるだけでなく、これまで困難であった活字の同定や印刷過程の分析といった研究が画像の重ね合わせによる分析により可能となっているという。

このように人類の知的遺産を後世にオリジナルのまま伝えていくことは、大切なことである。そういう意味からもわれわれが「カトリック文庫」として近代日本のキリスト教出版物を収集・保存し、その中でも特に貴重なものはデジタル・アーカイブ化し、研究利用に供することの重要性を再認識した次第である。

^{*1} 42行聖書は、1ページの行数が42行からなることからこう呼ばれる。慶應義塾大学所蔵のものは、初刷のものであるため前書きにあたる冒頭部分は40行、そのあとのページは41行、42行で印刷されている。



*2 慶應義塾大学 HUMI (HUMANITIES MEDIA INTERFACE) プロジェクトは、貴重書をデジタル画像化することにより、オリジナルに利用上の損傷を与える事無く研究に利用することができるようにこの「ゲーテンベルク 42 行聖書」の所蔵を機に始められたものである。この「HUMI (ふみ)」という言葉には日本語の「文、史、典」などの連想が働いている。このプロジェクトについては、時期を同じくして東京国際フォーラムで開催されていた第 2 回図書館総合展で HUMI プロジェクトの中心的存在である高宮利行慶應義塾大学教授の講演で伺うことができた。HUMI プロジェクトは、次のホームページで見ることができる。<http://www.humi.keio.ac.jp>

参考文献

キリスト降誕 2000 年「東京大聖書展」実行委員会出版委員会・死海写本と聖書の世界・

(東京、キリスト降誕 2000 年「東京大聖書展」実行委員会、2000)

宮田修二著・ゲーテンベルク聖書の行方。(東京、丸善、1992)

戸叶勝也著・ゲーテンベルク。(東京、清水書院、1997)

(Tatsunari SASAYAMA: 学術情報センター)

資料寄贈者(前号以降~2000.12)

「カトリック文庫」充実のため、下記の方々より貴重な資料を寄贈していただきました。ここに名前を掲載させていただき、改めて謝意を表したいと存じます。

[個人]

飯田栄子氏

[団体]

イエスの小さい姉妹の友愛会

カトリック文庫委員会新委員紹介

石田昌久(学術情報センター・整理係)

「他にもないキリスト教が、なぜ多くの人々を惹きつけるのか？
それを考えながら委員の仕事に取り組みたい。」

南山大学図書館カトリック文庫通信

カトリコス第 15 号 2001.1.1発行 南山大学図書館「カトリック文庫」委員会

編集委員: 笹山達成、山辺美津香、牧野多完子、今井麻里子

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

ホームページ <http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/dyuna/midashi.htm>

E-mail: library@ic.nanzan-u.ac.jp TEL:052-832-3163 FAX:052-833-6986 担当者: 笹山